

令和5年度 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業の実施について

「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」は実施予定の工事計画について、本協議会による協議を経て、実施しています。

この度、岳南電車（株）は、安全な鉄道輸送の確保及び更なる安全性の向上に向け、以下のとおり工事計画を立てましたので、協議を行います。

なお、協議が整いましたら令和5年4月以降、本日の協議結果とともに補助金交付申請を行う予定です。

1 工事概要

- ・ 対象事業区間 岳南鉄道線（吉原駅～岳南江尾駅）
- ・ 対象事業者名 岳南電車株式会社
- ・ 補助対象事業費（設備投資に係る工事） 79,699,918 円
- （維持修繕に係る工事） 8,474,000 円
- 合 計 88,173,918 円

【単位：円】

	区 分	工事の内容	補助対象経費	補助率	国庫補助金額
設備投資に係る工事	線路設備	レール（重軌条化）	18,720,250	1/3	6,240,083
	線路設備	マクラギ（PC まくら木化）	14,107,668	1/3	4,702,556
	電路設備	自動張力調整装置取替	4,400,000	1/3	1,466,666
	電路設備	トロリー線張替	6,970,000	1/3	2,323,333
	信号保安設備	信号保安設備	35,502,000	1/3	11,834,000
維	車両保存費	車両（重要部検査）1両（7001号）	8,474,000	1/3	2,824,666
合 計			88,173,918		29,391,304

2 国費以外の費用負担

静岡県からの補助金及び岳南電車（株）における自己資金によって実施します。

3 工事詳細

【線路設備】 レールの重軌条化

- 事業概要：レールを交換して重軌条化（37 レールから50N レール）を施すことで耐久性を向上させて軌間変位を防ぎ列車運行の安全性向上を図る。
- 工事箇所：本吉原駅～岳南原田駅間
- 工期：R 5.9.1～R 5.10.31
- 事業費計：18,720,250 円（補助対象経費）
- 国庫補助：6,240,083 円（国費要望額）
- 補助率：1/3



【線路設備】 木まくら木の PC まくら木化

- 事業概要：木まくら木を PC まくら木に交換し、耐久性を向上させて軌間変位を防ぎ運行の安全性向上を図る。
- 工事箇所：岳南原田下り本線、須津上り本線
- 工期：R 5.10.1～R 5.11.31
- 事業費計：14,107,688 円（補助対象経費）
- 国庫補助：4,702,556 円（国費要望額）
- 補助率：1/3



岳南原田下り本線



須津上り本線

【電路設備】 自動張力調整器取替工事

- 事業概要：老朽化している自動張力調整器を更新し、電路の安全性の向上を図る。
- 工事箇所：吉原～本吉原間 2号
自動張力調整器 1箇所 撤去・新設
引留装置 1箇所 撤去・新設
V支線 1箇所 撤去・新設
吊架線碍子(支持滑車含む)27箇所 撤去・新設
- 工期：R 5.8.1～R 5.9.31
- 事業費計：4,400,000 円（補助対象経費）
- 国庫補助：1,466,666 円（国費要望額）
- 補助率：1/3



【電路設備】トロリー線張替え

■事業概要：摩耗しているトロリー線の張替え工事を行い電路の安全性の向上を図る。

■工事箇所：

- ・吉原～本吉原間 本4号～本14号
トロリー線 GT85 張替 292m
ワイヤー接続 2箇所修繕、曲引装置 10箇所退避
- ・本吉原構内構本 7-2号～構副 10-1号
トロリー線 GT85 張替 106m
ワイヤー接続 2箇所修繕、曲引装置 5箇所退避
- ・本吉原～原田間 副19号～本20号
トロリー線 GT85 張替 6m
ワイヤー接続 2箇所修繕、振止装置 1箇所退避
- ・須津構内 構本 17号～構副 8号
トロリー線 GT85 張替 293m
振止装置 1箇所退避、振止装置 1箇所撤去・新設、

■工期 : R 5.10.1～R 5.11.31

■事業費計：6,970,000 円（補助対象経費）

■国庫補助：2,323,333 円（国費要望額）

■補助率 : 1/3



本吉原構内

【信号保安設備】踏切更新

■事業概要：老朽化した踏切の制御関係部品、踏切遮断機、踏切警報機を更新し、踏切動作の安定性の向上を図る。

■工事箇所：本町南踏切、依田原踏切、大坪踏切

■工期 : R 5.12.1～R 6.1.31

■事業費計：35,502,000 円（補助対象経費）

■国庫補助：11,834,000 円（国費要望額）

■補助率 : 1/3



踏切 本町南踏切



踏切 本町南踏切



踏切 大坪踏切

【車両保存費】 車両重要部検査

■事業概要：岳南電車では、本線列車として、4編成6両を保有し運行している。

地方公共交通として、定期運行による沿線利用者の利便性の確保はもとより、不測の事態に対応しながら所定ダイヤ（3編成）を守るため、運用（検収）の予備車の確保も踏まえ、対象1両を本線列車として継続して使用する。

また、岳南鉄道線は沿線住民の日常生活を支えるなどの重要な公共交通機関であるとともに、多くの外国人就労者が沿線に勤務していること、また、訪日外国人が増加している状況である。そのため、外国人の利便性向上と安全性の向上を図るため、多言語対応の車内案内放送が可能な車両を運用している（4車両多言語放送整備済）。

当該車両について実施基準に基づき重要部検査を実施することで、訪日外国人旅行者等にとって利便性の良い車両の安全・運営の為に車両確保を図る必要がある。

■対象車両：岳南電車 7001 号の車両重要部検査

電動空気圧縮機検修、主電動機検修、台車分解検修、台車深傷検査
車軸超音波深傷検査、総合安全・試運転 他

■工期：R 5.10.1～R 5.10.31

■事業費計：8,474,000 円（補助対象経費）

■国庫補助：2,824,666 円（国費要望額）

■補助率：1/3

